

IHE 認定技術者体験談

医療情報規格（IHE/MFER/CDA/HL7/FHIR）を軸としたソリューション営業
～国産・外資の知見で実現する、医療機器データ連携と“つながる現場づくり”～

インターシステムズジャパン株式会社所属
佐藤晃

私はこれまで、医療情報の相互運用性と医療機器データ連携を軸に、顧客課題の解決に取り組むソリューション営業として経験を積んでまいりました。

内資系医療機器ベンダー在籍時には、心電計・生体情報モニタのデータ管理システムを担当し、MFER および HL7 CDA に対応したデータ連携基盤の提案から導入・構築まで一貫して推進しました。分散していた心電図閲覧環境を統合し、波形とレポートを単一ビューアで参照できる運用を実現することで、医療現場の業務負担軽減に貢献しました。

外資系医療機器ベンダー在籍時には、国際標準に準拠したデバイス連携ソリューションの導入を進め、ベッドサイド機器のデータを電子カルテ、部門システム、データウェアハウスへ安全かつ確実に連携する仕組みを構築しました。現場要件に基づくシステム構成設計から本番移行、運用設計までを一貫して支援し、拡張性と保守性を両立したアーキテクチャの定着を牽引しました。

現在はインターシステムズジャパンにて、これまでの連携経験を基盤に、IHE や FHIR の価値を医療現場へ届ける取り組みを進めています。今後も IHE-J に関わる活動を推進しつつ、医療情報連携がよりシームレスに実現できるよう、一層の貢献をしてまいりたいと考えております。

以上。